

1. 研究概要の説明

本課題は、オンラインでの火山観測データの一元的な流通を一層進めるため、各組織・研究者との調整を行いつつ、リアルタイムデータ流通の基盤である火山観測データ流通・共有システム（以下「流通・共有システム」という。）を強化し、リアルタイムデータ以外のデータの共有の基盤となる火山観測データ一元化共有システム（以下「JVDN システム」という。）を開発する。また、観測データを研究の進展や防災対応等により活用されることを目指して、JVDN システムに WEB-GIS 等を活用した可視化ツールや事象系統樹との連携機能などを付けるとともに、研究者や地方自治体等への利用促進を図る。さらに、既存および他の課題の成果をシステムに取り込みつつ、一元化された観測データを活用して、事象系統樹の分岐判断に必要な処理技術等、観測データを災害対応に資する情報に変換する技術開発を行いシステムに実装する。これらにより、データ・研究成果の活用や研究分野間・組織間の連携を促して火山研究をより活性化させ、次世代火山研究推進事業が目指す「観測・予測・対策」の一体的な火山研究を推進し、データ・研究成果の地方自治体や行政機関等による防災対策及び対応への活用を促進することによって火山災害の軽減に資する。

(1) 研究者別の概要

所属機関・部局・職名	氏名	分担した研究項目及び研究成果の概要	研究実施期間	配分を受けた研究費	間接経費
防災科学技術研究所火山研究推進センター・主任研究員	上田英樹	JVDN システムの必要な機能の開発及び安定運用することができた。状態遷移図を用いた火山活動の推移予測手法を提案した。	R3. 4. 1～ R4. 3. 31	¥100,960 ,000	¥23,298 ,462
防災科学技術研究所火山研究推進センター・契約研究員	廣瀬郁	JVDN システムの必要な機能の開発及び安定運用することができた。地震波干渉法解析結果を JVDN システムに実装した。	R3. 4. 1～ R4. 3. 31		
防災科学技術研究所火山研究推進センター・主任研究員	三輪学央	降灰調査データ共有機能を用いて、関係機関と連携してデータ共有する方法について検討した。	R3. 4. 1～ R4. 3. 31		
防災科学技術研究所火山研	長井	JVDN システムの利用ガイドを作成した。岩石コアのデータベ	R3. 4. 1～ R4. 3. 31		

究推進センター・契約研究員	雅史	スの登録作業を進めた。			
防災科学技術研究所火山研究推進センター・契約研究員	河野裕希	JVDN システムの利用ガイドを作成した。写真データの登録機能を用いてデータの登録作業を進めた。	R3. 4. 1～ R4. 3. 31		
防災科学技術研究所地震津波防災研究部門・主任研究員	松澤孝紀	JVDN システムに組み込むためのデータ処理機技術を開発しプログラムを提供した。	R3. 4. 1～ R4. 3. 31		

(2) 研究実施日程

研究実施内容	実 施 日 程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
各種観測データの一元化	←			△				△				→

△火山研究運営委員会

2. 研究成果の説明

(1) 業務の内容

(a) 業務題目

各種観測データの一元化

(b) 担当者

所属機関	機関種別	役職	氏名
国立研究開発法人防災科学技術研究所	課題責任機関	主任研究員	上田 英樹
		契約研究員	廣瀬 郁
		主任研究員	三輪 学央
		契約研究員	長井 雅史
		契約研究員	河野 裕希
		主任研究員	松澤 孝紀